

DJエフェクター

RMX-IGNITE

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに.....	4
本書の見かた	4
同梱品を確認する.....	4
対応アプリケーションをインストールする	5
PRO DJ LINK について	6
各部の名称.....	8
コントロールパネル.....	8
本体リア部	9
本体側面部	11
ディスプレイセクション.....	12
接続	15
入出力端子に接続する	16
GLOBAL	21
GLOBAL セクション.....	21
BPM を設定する.....	23
PHASE を調整する.....	23
ECHO のディレイタイムを調整する	24
音声信号の経路を設定する	24
3-BAND FX.....	25
3-BAND FX セクション	25
ISOLATE FX を使う	27
ISOLATE FX の種類と設定方法.....	28
LEVER FX を使う	29
LEVER FX の種類と設定方法	30
RELEASE ECHO.....	31
RELEASE ECHO セクション	31
RELEASE ECHO を使う	32
RELEASE ECHO の種類と設定方法.....	33

SAMPLER	34
SAMPLER セクション	34
サンプル音源を再生する	36
HOLD 機能を使う	38
OVERDUB 機能を使う	39
SAMPLER COLOR FX を使う	41
SAMPLER COLOR FX の種類と設定方法.....	42
サンプル音源を変更する	43
サンプル音源をモニターする	47
USB/MIDI	49
MIDI 対応ソフトウェアを操作する	49
設定	50
UTILITY 設定を変更する	50
UTILITY 設定項目	51
初期設定に戻す	53
スペック	54
仕様.....	54
ブロックダイヤグラム	57
その他	58
故障かな?と思ったら	58
液晶画面について.....	64
商標および登録商標について	65
ソフトウェアのライセンス	66
著作権.....	68

はじめに

本書の見かた

- このたびは、AlphaTheta製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac画面、およびモバイルデバイス画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、【 】で囲んで記載しています。
(例：【Files】、【CUE】ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OSのバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

同梱品を確認する

- DJエフェクター × 1
- ACアダプター × 1
- 電源コード × 1
- 保証書（一部の地域）*1 × 1
- クイックスタートガイド × 1
- 使用上のご注意 × 1

*1 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

対応アプリケーションをインストールする

❖ RMX-IGNITE Sample Manager for Mac/Windows

RMX-IGNITE Sample Manager for Mac/Windowsは、本機をより活用するための各種調整ができるアプリケーションです。本機のSAMPLERセクションで演奏する、サンプル音源のユーザーバンクを編集・調整してUSBデバイスなどの記録メディアにエクスポートできます。

インストールおよびマニュアルについては、下記サイトをご確認ください。

alphatheta.com/rmx-ignite-sample-manager/Japan/

PRO DJ LINK について

PRO DJ LINK 対応のマルチプレーヤーやDJミキサーと本機をLANケーブルで接続すると、PRO DJ LINK機能を利用できます。

- スイッチングハブを使って接続すると、マルチプレーヤーを6台まで、DJミキサーは1台まで接続できます。
- 100BASE-TX対応で、マルチプレーヤーおよびDJミキサーにも対応のスイッチングハブを使用してください。スイッチングハブによっては、正常に動作しないことがあります。
- マルチプレーヤーの番号は、DJミキサーへ音声ケーブルを接続したチャンネルと同じ番号に設定してください。正しく設定されていない場合は、本機が正常に動作しないことがあります。
- PRO DJ LINKについては、マルチプレーヤー、DJミキサーおよびrekordboxの取扱説明書も参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- PRO DJ LINK対応の全ての機器・サービスが本機をサポートしているわけではありません。本機に対応しているPRO DJ LINK機器については、下記のAlphaThetaサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

❖ ビートシンク

本機の各機能の動作を、マルチプレーヤーで再生するトラックのテンポ (BPM) や拍位置に自動で合わせます。

- rekordboxで解析していないトラックはビートシンクできません。あらかじめrekordboxで楽曲を解析してください。

rekordboxで楽曲ファイルを解析する方法については、rekordboxの「操作説明書」を参照してください。

❖ サンプル音源読み出し

RMX-IGNITE Sample Managerからエクスポートした本機SAMPLERセクション用のユーザーバンクのデータを、マルチプレーヤーに挿入したUSBデバイスなどの記録メディアから読み出せます。記録メディアに保存された本機が対応するフォーマットのファイルも、一部読み出せます。

RMX-IGNITE Sample Managerでサンプル音源を準備する方法については、RMX-IGNITE Sample Managerの操作説明書を参照してください。

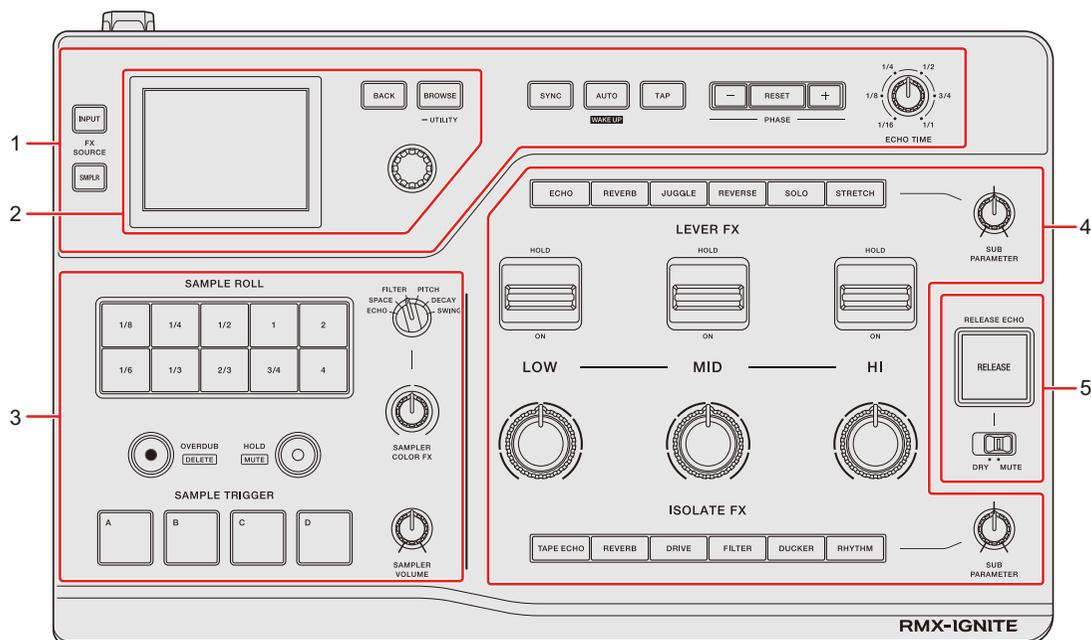
❖ LINK CUE for SAMPLER

本機の SAMPLER セクションに設定されたバンクの音源のほか、バンク作成中にブラウジングしたサンプル音源を DJ ミキサーの **[LINK CUE]** を使ってヘッドホンでモニターできます。

⇒ [「DJ ミキサーでサンプル音源をモニターする \(LINK CUE for SAMPLER\)」](#) (48 ページ)

各部の名称

コントロールパネル



1. GLOBAL セクション

⇒ [「GLOBAL セクション」](#) (21 ページ)

2. ディスプレイセクション

⇒ [「ディスプレイセクション」](#) (12 ページ)

3. SAMPLER セクション

⇒ [「SAMPLER セクション」](#) (34 ページ)

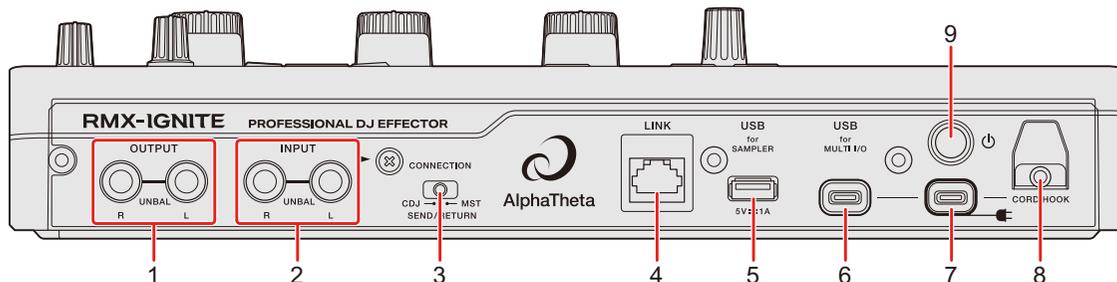
4. 3-BAND FX セクション

⇒ [「3-BAND FX セクション」](#) (25 ページ)

5. RELEASE ECHO セクション

⇒ [「RELEASE ECHO セクション」](#) (31 ページ)

本体リア部



1. OUTPUT 端子 (1/4 inch/6.35 mm、TS)

DJミキサーのRETURN端子などと接続します。

⇒ 「入出力端子に接続する」 (16 ページ)

2. INPUT 端子 (1/4 inch/6.35 mm、TS)

DJミキサーのSEND端子などと接続します。

- ・ ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。

⇒ 「入出力端子に接続する」 (16 ページ)

3. CONNECTION スイッチ

[INPUT]端子に接続する機器に合わせて、入力音声のレベルを選択します。

- [CDJ] : マルチプレーヤーなどから出力されるラインレベルの音声
- [SEND/RETURN] : DJミキサーのSEND端子から出力されるレベルの音声
- [MST] : DJミキサーやオールインワンDJシステムのMASTER端子などから出力されるレベルの音声

⇒ 「入出力端子に接続する」 (16 ページ)

4. LINK 端子

PRO DJ LINK対応のマルチプレーヤーのLINK端子と接続します。

- ・ 複数の機器と接続するときは、スイッチングハブ (市販/100 BASE-TX対応) を使用してください。

⇒ 「入出力端子に接続する」 (16 ページ)

5. USB for SAMPLER 端子 (USB Type-A)

本機の SAMPLER セクションで使用するファイルを含む USB デバイスを接続します。

⇒ 「サンプル音源を変更する」 (43 ページ)

6. USB for MULTI I/O 端子 (USB Type-C)

本機に対応した DJ ミキサーの MULTI I/O と USB ケーブルで接続します。

- この端子で音声を入出力している間は、[OUTPUT]/[INPUT] 端子から音声を入出力できません。

⇒ 「入出力端子に接続する」 (16 ページ)

7. 電源端子 (USB Type-C)

付属の電源コードと AC アダプターで、コンセントと接続します。

⇒ 「入出力端子に接続する」 (16 ページ)

8. コードフック

[USB for MULTI I/O] 端子や電源端子に接続するコードを固定します。

⇒ 「コードフック」 (20 ページ)

9. スイッチ

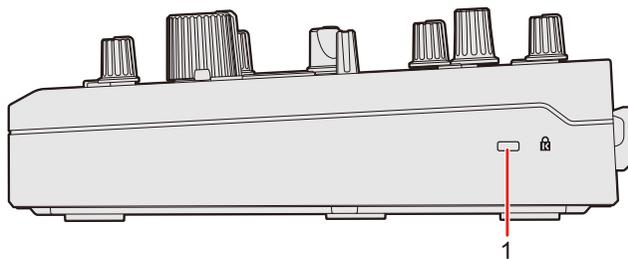
本機の電源をオン/オフします。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。

製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

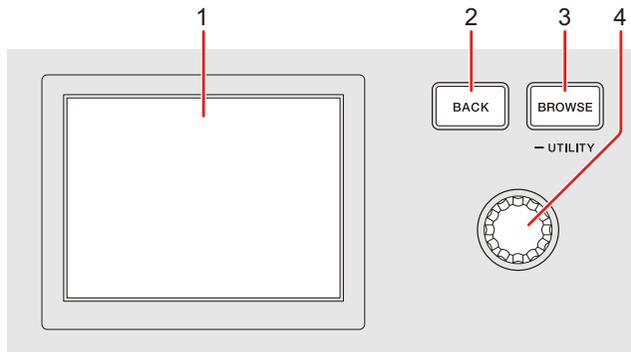
本体側面部



1. ケンジントンロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着します。

ディスプレイセクション



1. 本体表示部

⇒ [「本体表示部」](#) (13 ページ)

2. BACK ボタン

3. BROWSE/UTILITY ボタン

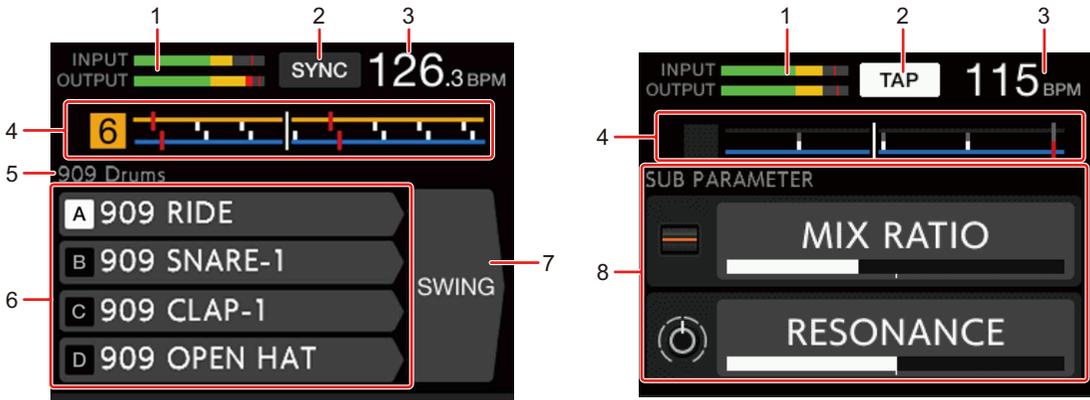
本機の SAMPLER セクションで再生する音声をブラウズします。

⇒ [「サンプル音源を変更する」](#) (43 ページ)

4. マルチエンコーダー

本体表示部

本機の演奏状態やSAMPLERセクションの設定を表示します。
一時的に、3-BAND FXの設定も表示します。



❖ 演奏状態

1. ピークレベルメーター

本機の入出力音声のピークレベルメーターを表示します。

過大音量が入出力された場合は、**[CLIP INPUT]**、**[CLIP OUTPUT]**、**[CLIP IN/OUT]**を表示します。

2. AUTO/TAP/SYNC

BPM測定モードが自動モードのときは**[AUTO]**が、手動入力モードのときは**[TAP]**が、SYNC MASTERのマルチプレーヤーと同期しているときは**[SYNC]**が表示されます。

- 自動モードでBPMを測定できないときは、BPM値の表示が点滅します。その場合は、**[TAP]**ボタンを押して手動入力モード（**[TAP]**を表示）を選択してください。

3. BPM表示

設定されているBPMを表示します。

4. PHASE METER表示

本機および本機が同期しているマルチプレーヤーのPHASE METERを表示します。

小節や拍のズレを確認できます。

❖ SAMPLER セクション設定

5. SAMPLE BANK 名称

本機の SAMPLER セクションにロードされている BANK 名を表示します。

⇒ [「サンプル音源を変更する」](#) (43 ページ)

6. サンプル音源名称

各[SAMPLE TRIGGER]パッドにロードされているサンプル音源名を表示します。

7. SAMPLER COLOR FX 表示

選択されている SAMPLER COLOR FX (エフェクト名) を表示します。

エフェクトがオンのときは、SAMPLER COLOR FX 表示の外枠が点滅します。

⇒ [「SAMPLER COLOR FX の種類と設定方法」](#) (42 ページ)

❖ 3-BAND FX 設定

8. SUB PARAMETER 情報

ISOLATE FX ボタン、LEVER FX ボタンで選択しているエフェクトの SUB PARAMETER 設定を表示します。

⇒ [「ISOLATE FX の種類と設定方法」](#) (28 ページ)

⇒ [「LEVER FX の種類と設定方法」](#) (30 ページ)

接続

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

電源コードは、全ての接続が完了してから接続してください。

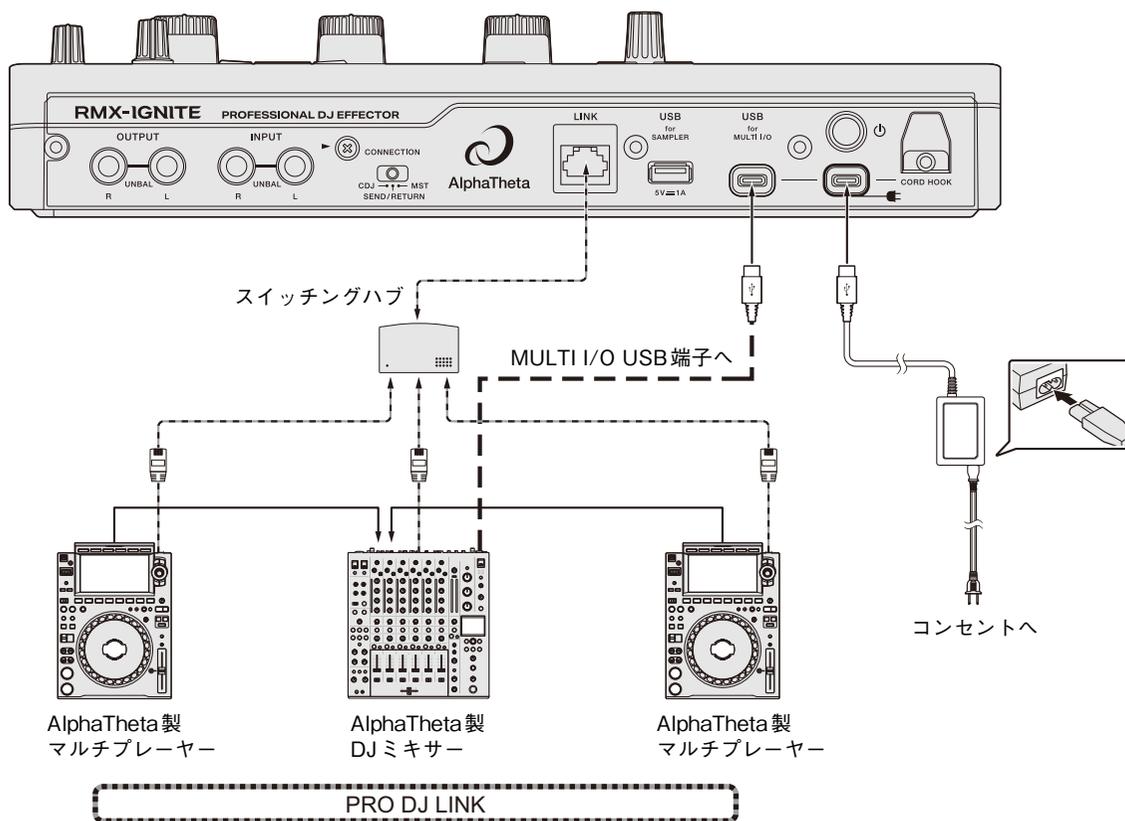
- 付属の電源コードとACアダプターを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- LANケーブルを使って接続するときは、CAT5eシールドケーブルを使用してください。
- PRO DJ LINKを使用しているときは、LANケーブルを取り外さないでください。
- 接続や設定が正しくない場合、音質が悪くなったり、本機が正常に動作しないことがあります。

入出力端子に接続する

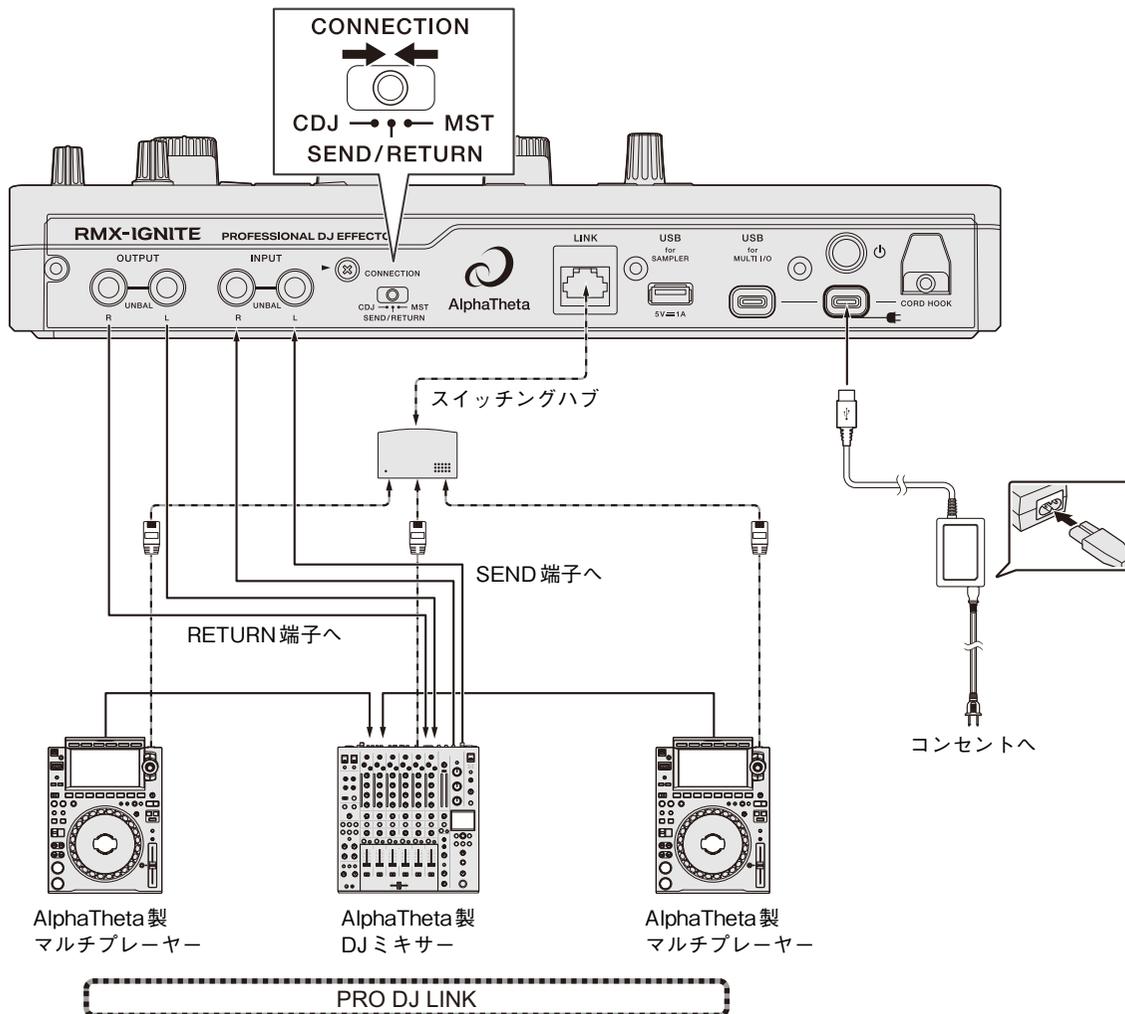
本機の使いかたに合わせて、本機を正しく接続・設定してください。

本機の音声を使うには、接続しているマルチプレーヤーおよびDJミキサーの取扱説明書も参照してください。

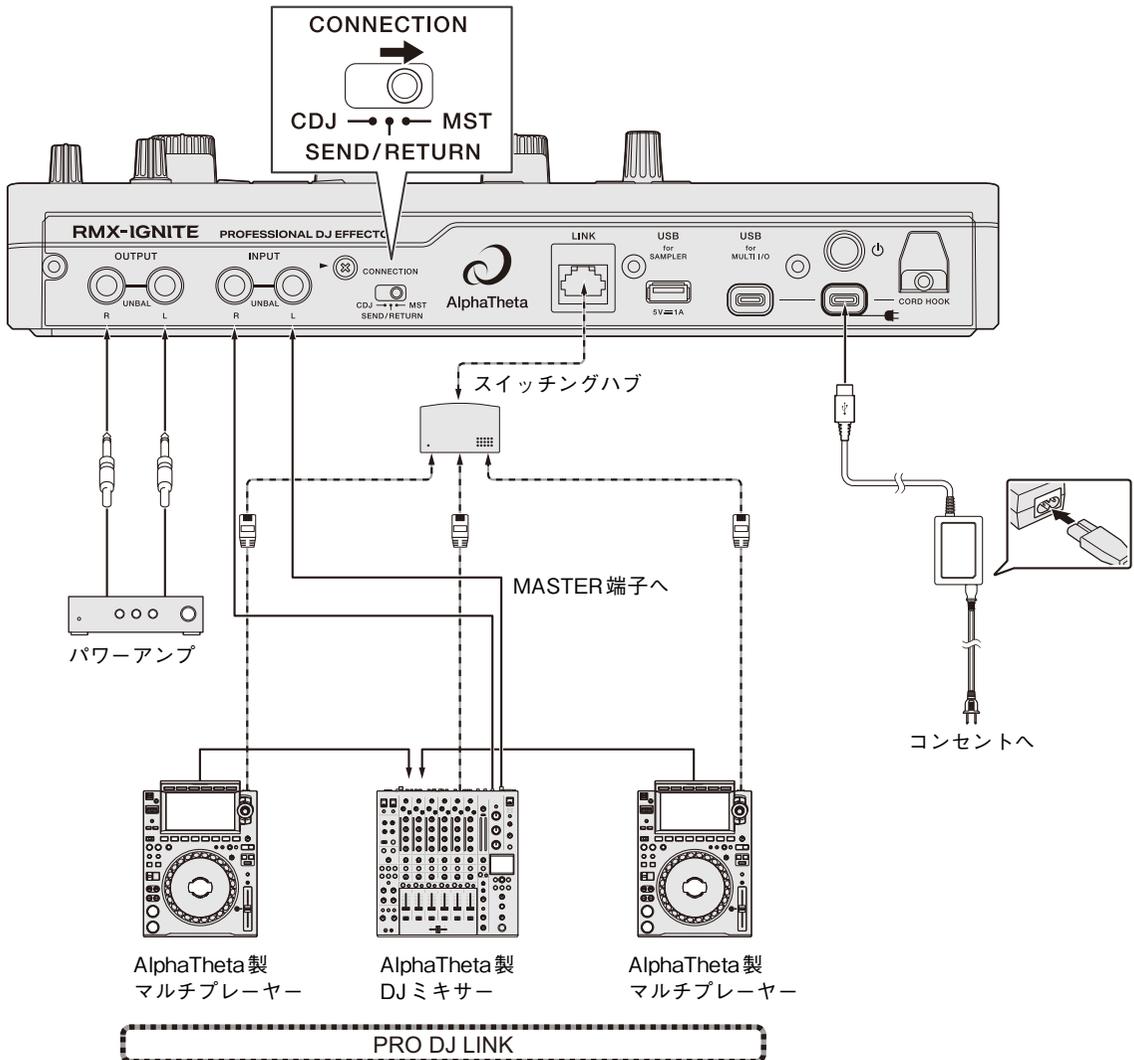
本機に対応したDJミキサーとUSBケーブルで接続する



DJ ミキサーのSEND および RETURN 端子と接続する

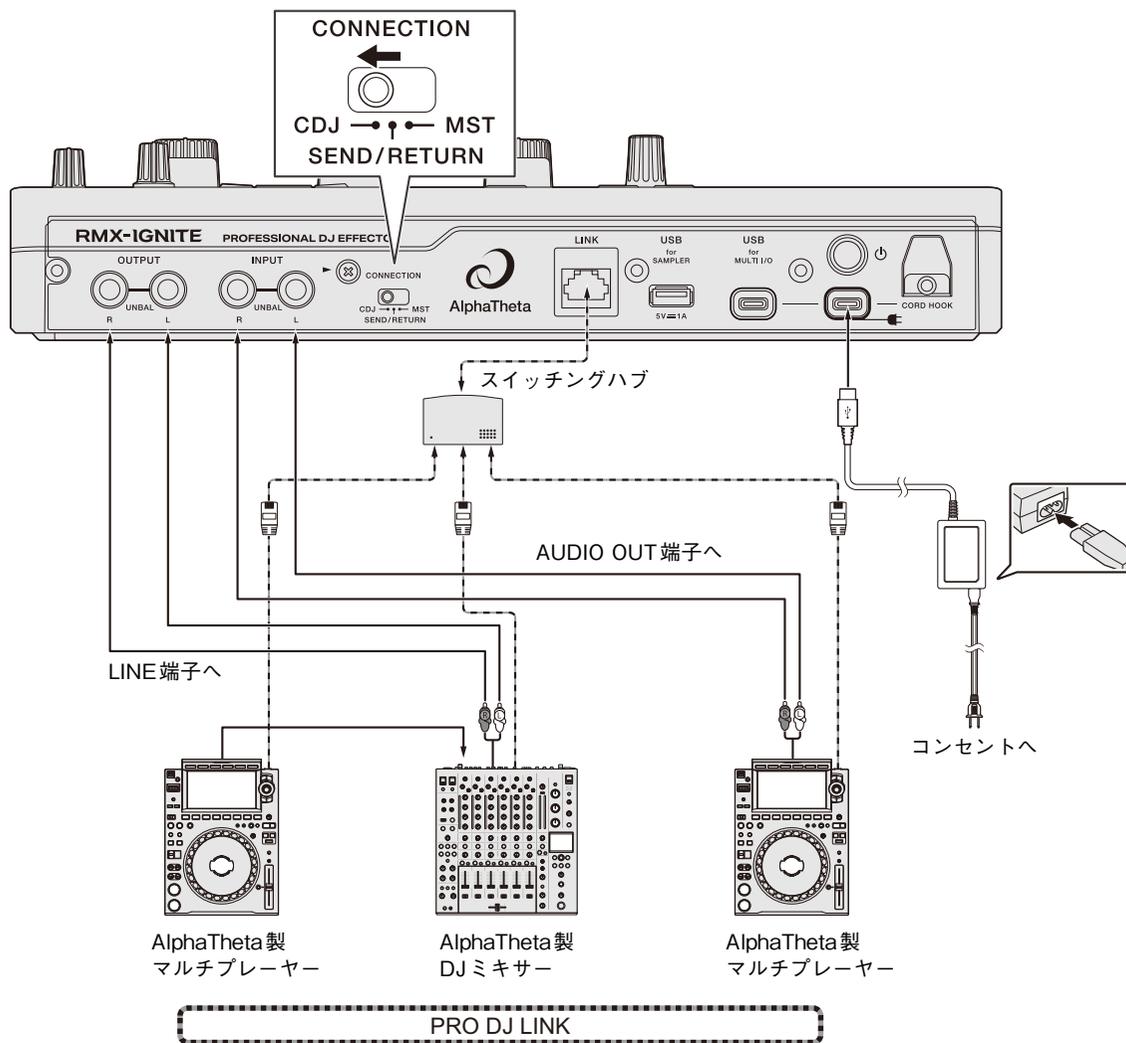


DJ ミキサーの MASTER 端子と接続する



- DJ ミキサーの [MASTER] 端子と本機を接続するには、RCA/PHONE 変換ケーブルが必要です。
- ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。

マルチプレーヤーとDJミキサーの間に接続する

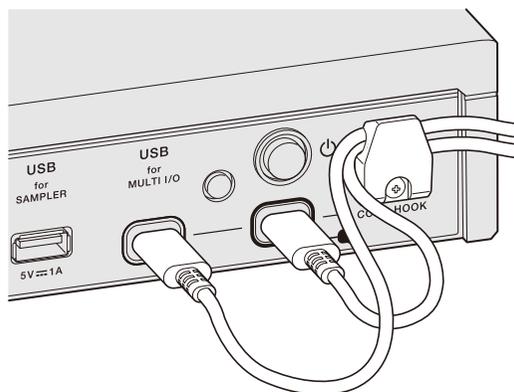


- DJミキサーの[LINE]端子およびマルチプレーヤーの[AUDIO OUT]端子と本機を接続するには、RCA/PHONE変換ケーブルが必要です。
- 接続しているマルチプレーヤーと本機を同期させるには、UTILITY設定で[AUTO REF. PLAYER]を設定してください。
⇒ [UTILITY設定項目] (51 ページ)

コードフック

ACアダプターのコードと【USB for MULTI I/O】端子に接続するUSBケーブルは、コードフックに通して固定してください。プラグが誤って端子から抜け、再生中に音声途切れるのを防ぎます。

図のようにコードフックをお使いください。

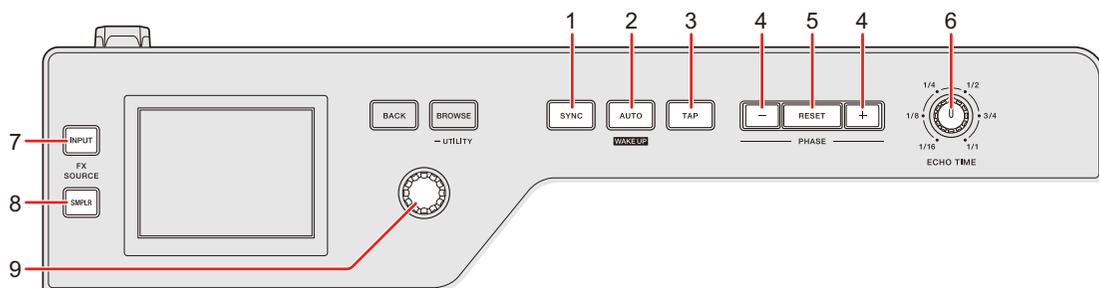


- ACアダプターのコードの根本を折り曲げた状態で固定しないでください。曲げたまま固定して使い続けると、コードが断線して接触不良を起こす場合があります。

GLOBAL

本機の汎用演奏設定を設定・調整します。

GLOBAL セクション



1. BEAT SYNC ボタン

BPMの測定方法を [SYNC] に設定します。

⇒ [「BPMを設定する」](#) (23 ページ)

2. AUTO (WAKE UP) ボタン

BPMの測定方法を [AUTO] に設定します。

- [AUTO] ボタンをパワーマネジメント機能によるオフモードのときに押すと、オフモードを解除します。

⇒ [「BPMを設定する」](#) (23 ページ)

3. TAP ボタン

BPMの測定方法を [TAP] に設定します。

⇒ [「BPMを設定する」](#) (23 ページ)

4. PHASE NUDGE - / + ボタン

本機の PHASE METER を微調整します。

⇒ [「PHASEを調整する」](#) (23 ページ)

5. PHASE RESET ボタン

本機のPHASE METERを小節先頭に調整します。

⇒ 「PHASEを調整する」 (23 ページ)

6. ECHO TIME ノブ

本機のECHO系エフェクトのディレイタイムを調整します。

⇒ 「ECHOのディレイタイムを調整する」 (24 ページ)

7. FX SOURCE INPUT ボタン

3-BAND FX セクションに本機の入力音声を通すかを設定します。オンのときにボタンが点灯します。

⇒ 「音声信号の経路を設定する」 (24 ページ)

8. FX SOURCE SMPLR (SAMPLER) ボタン

3-BAND FX セクションに本機のSAMPLERセクションの音声を通すかを設定します。オンのときにボタンが点灯します。

⇒ 「音声信号の経路を設定する」 (24 ページ)

9. マルチエンコーダー

本機のSAMPLERセクションにロードするサンプル音源の選択や、本機の設定を変更するときに使います。

⇒ 「サンプル音源を変更する」 (43 ページ)

⇒ 「UTILITY設定を変更する」 (50 ページ)

BPM を設定する

BPMの測定方法 (AUTO/TAP/SYNC) を選択します。選択した測定方式が本体表示部に表示されます。

- **AUTO (自動) モード**：入力音声のBPMを自動測定します（測定範囲は70～180）。
 - **TAP (手動入力) モード**：**[TAP]**ボタンを指でたたいて、BPMを手動で設定します。
 - **SYNC (自動) モード**：ビートシンクのマスターに設定されているマルチプレーヤーにロードされているトラックのBPMに自動で合わせます。
- 本機の電源をオンにしたときは、自動的にAUTOモードに設定されます。

BPMを手動で設定する

1 再生中の音声の拍に合わせて、**[TAP]**ボタンを2回以上指でたたく

[TAP]ボタンを指でたたいた間隔の平均値がBPMに設定されます。

- **[TAP]**ボタンを押しながら次の操作をすることでも、BPMを手動で設定できます。
 - マルチエンコーダーを回す：1単位で設定
 - PHASE NUDGE **[-]**/**[+]**ボタンを押す：0.1単位で設定

PHASE を調整する

本機のPHASE METERの位置を調整して、3-BAND FX セクションおよびSAMPLER セクションの一部機能の動作タイミングを調整します。PHASE METERの位置は本体表示部に表示されます。

- **PHASE NUDGE [+]**ボタン：PHASEを進めます。押し続けている間、PHASEを進め続けます。
- **PHASE NUDGE [-]**ボタン：PHASEを遅らせます。押し続けている間、PHASEを遅らせ続けます。
- **PHASE [RESET]**ボタン：押したタイミングを本機のPHASE METERの小節先頭に調整します。

ECHOのディレイタイムを調整する

[ECHO TIME]ノブで、本機のECHO系エフェクトのディレイタイムを一括で調整します。設定されたBPMに対して、1/16～1/1の範囲でディレイタイムが調整できます。

- [ECHO TIME]ノブのまわりに記載された拍の倍率に調整すると、操作時にクリック感が得られます。

音声信号の経路を設定する

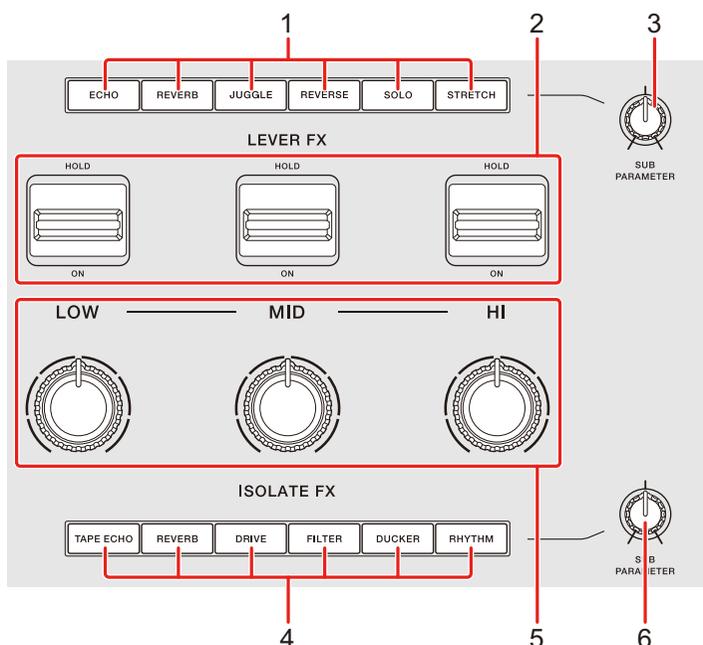
[FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンで、3-BAND FXセクションに通す音声を設定します。

- [INPUT]ボタン：本機への入力音声を通す/通さないを設定します。
 - [SMPLR]ボタン：SAMPLERセクション出力音声を通す/通さないを設定します。
- 本機の電源をオンにしたときは、自動的に[INPUT]および[SMPLR]ボタンがオンに設定され、本機への入力音声とSAMPLERセクション出力音声は3-BAND FXセクションを通ります。
⇒ [「ブロックダイヤグラム」\(57 ページ\)](#)

3-BAND FX

ISOLATE FXとLEVER FXを組み合わせて、音域別にエフェクトを加えます。

3-BAND FX セクション



1. LEVER FX ボタン

LEVER FX を選択します。選択しているボタンが点滅します。

2. LEVER FX (LOW, MID, HI) レバー

各音域に選択されたLEVER FXを加えます。

- **[ON]**：レバーを**[ON]**の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。レバーを離すと中央の位置に戻り、エフェクトがオフになります。
- **[HOLD]**：レバーを**[HOLD]**の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。エフェクトをオフにするには、レバーの位置を中央に戻してください。

3. LEVER FX SUB PARAMETER ノブ

選択している LEVER FX のサブパラメーターを調整します。

⇒ [「LEVER FX の種類と設定方法」](#) (30 ページ)

4. ISOLATE FX ボタン

ISOLATE FX を選択します。選択しているボタンが点滅します。

5. ISOLATE FX (LOW, MID, HI) ノブ

各音域での選択された ISOLATE FX の効果を調整します。

6. ISOLATE FX SUB PARAMETER ノブ

選択している ISOLATE FX のサブパラメーターを調整します。

⇒ [「ISOLATE FX の種類と設定方法」](#) (28 ページ)

ISOLATE FX を使う

⇒ 「ISOLATE FXの種類と設定方法」(28 ページ)

⇒ 「音声信号の経路を設定する」(24 ページ)

1 BEAT [SYNC]、[AUTO]または[TAP]ボタンを押して、BPM測定モードを設定する

2 [FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンで効果をかける音声を設定する

3 使用するエフェクトのISOLATE FXボタンを押す

使用中のエフェクトのボタンが点滅します。

- すでにエフェクトが選択されているときは、後から押したボタンのエフェクトに切替わります。
- [TAPE ECHO]以外を使用する場合は、手順5にスキップしてください。

4 [ECHO TIME]ノブを回して、ディレイタイムを調整する

5 ISOLATE FX ([LOW], [MID], [HI]) ノブを回して、エフェクトを調整する

[FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンで選択した音声のうちノブを操作した音域に、エフェクトの効果がかけられます。

- ISOLATE FX ([LOW], [MID], [HI]) ノブを中央の位置にすると、その音域にはエフェクトの効果がかかりません。

6 ISOLATE FX [SUB PARAMETER]ノブを回して、エフェクトのパラメーターを調整する

パラメーターの内容と調整の状態が本体表示部に表示されます。

- もう一度、使用中のエフェクトのISOLATE FXボタンを押すと、エフェクトがオフになります。

ISOLATE FXの種類と設定方法

ノブの操作で、ISOLATE FXの下記の内容を設定できます。

エフェクト／操作	説明
TAPE ECHO	各音域の音質を調整するとともに、揺らぎや飽和感のあるディレイ音を加えます。
• LOW, MID, HI :	左回し：各音域の音質 ($-\infty$ dB ~ 0 dB) 右回し：SEND レベル
• SUB PARAMETER :	フィードバック
• ECHO TIME :	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率) : 1/16 ~ 1 拍
REVERB	各音域の音質を調整するとともに、残響音を加えます。
• LOW, MID, HI :	左回し：各音域の音質 ($-\infty$ dB ~ 0 dB) 右回し：SEND レベル
• SUB PARAMETER :	残響時間
DRIVE	各音域の音質を調整するとともに、歪みの効果を加えます。
• LOW, MID, HI :	左回し：各音域の音質 ($-\infty$ dB ~ 0 dB) 右回し：歪みの効果
• SUB PARAMETER :	歪みの効果のキャラクター
FILTER	フィルターを通した各音域の音声を出力します。
• LOW, MID, HI :	左回し：各音域へのローパスフィルターのカットオフ周波数 右回し：各音域へのハイパスフィルターのカットオフ周波数
• SUB PARAMETER :	レゾナンス
DUCKER	BPM の 1 拍周期で各音域の音声にエンベロープをかけます。
• LOW, MID, HI :	左回し：拍の後半が残るエンベロープカーブ 右回し：拍の前半が残るエンベロープカーブ
• SUB PARAMETER :	カーブの形状

エフェクト／操作	説明
RHYTHM	BPM の 1 小節周期で各音域の音声を組み換えます。
• LOW, MID, HI :	音声の組み換えパターン
• SUB PARAMETER :	デュレーション

LEVER FX を使う

⇒ [「LEVER FXの種類と設定方法」](#) (30 ページ)

⇒ [「音声信号の経路を設定する」](#) (24 ページ)

1 BEAT [SYNC]、[AUTO]または[TAP]ボタンを押して、BPM測定モードを設定する

2 [FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンで効果をかける音声を設定する

3 使用するエフェクトのLEVER FXボタンを押す

使用中のエフェクトのボタンが点滅します。

- すでにエフェクトが選択されているときは、後から押したボタンのエフェクトに切替わります。
- [ECHO]または[SOLO]以外を使用する場合は、手順5にスキップしてください。

4 [ECHO TIME]ノブを回して、ディレイタイムを調整する

5 LEVER FX [SUB PARAMETER]ノブを回して、エフェクトのパラメーターを調整する

パラメーターの内容と調整の状態が本体表示部に表示されます。

6 LEVER FX ([LOW], [MID], [HI]) レバーを [ON] または [HOLD] に合わせる

[FX SOURCE INPUT, SMPLR] ボタンで選択した音声のうちレバーを操作した音域に、エフェクトの効果がかけられます。

- もう一度、使用中のエフェクトの LEVER FX ボタンを押すと、エフェクトがオフになります。

LEVER FX の種類と設定方法

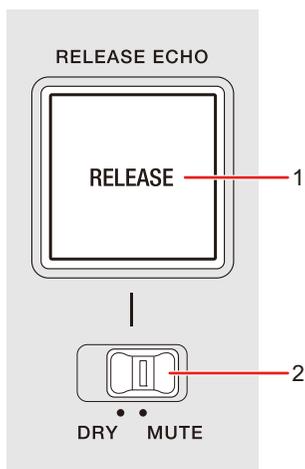
ノブの操作で、LEVER FX の下記の内容を設定できます。

エフェクト／操作	説明
ECHO	各音域にクリアなディレイ音を加えます。
• SUB PARAMETER :	ミックスレシオ
• ECHO TIME :	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率) : 1/16 ~ 1 拍
REVERB	各音域に残響音を加えます。
• SUB PARAMETER :	ミックスレシオ
JUGGLE	各音域の音声を BPM の 1/2 拍ディレイさせます。
• SUB PARAMETER :	ミックスレシオ
REVERSE	各音域の音声を BPM の 1 拍周期で逆再生します。
• SUB PARAMETER :	ミックスレシオ
SOLO	操作した音域のみ出力します。
• SUB PARAMETER :	ミックスレシオ、消音する音域に加えるディレイ音の強さ
• ECHO TIME :	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率) : 1/16 ~ 1 拍
STRETCH	各音域の音声を BPM の 1 小節分引き伸ばして出力します。
• SUB PARAMETER :	引き伸ばしの倍率

RELEASE ECHO

3-BAND FX セクションに通した音声を、一括で本機の効果がかかっていない音声に戻します。

RELEASE ECHO セクション



1. RELEASE ボタン

ボタンを押している間だけエフェクトがオンになります。

2. RELEASE ECHO 切替えスイッチ

RELEASE ECHO の種類を切替えます。

RELEASE ECHO を使う

⇒ [「RELEASE ECHOの種類と設定方法」](#) (33 ページ)

⇒ [「ECHOのディレイタイムを調整する」](#) (24 ページ)

- 1 BEAT [SYNC]、[AUTO]または[TAP]ボタンを押して、BPM測定モードを設定する
 - 2 [FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンで効果をかける音声を設定する
 - 3 RELEASE ECHO切替えスイッチで、使用するエフェクトを選択する
 - 4 [ECHO TIME]ノブを回して、ディレイタイムを調整する
 - 5 [RELEASE]ボタンを押す
- [RELEASE]ボタンを離すとRELEASE ECHOの効果がオフになります。それまでオンになっていた3-BAND FXセクション、SAMPLERセクションの効果もオフになります。

RELEASE ECHO の種類と設定方法

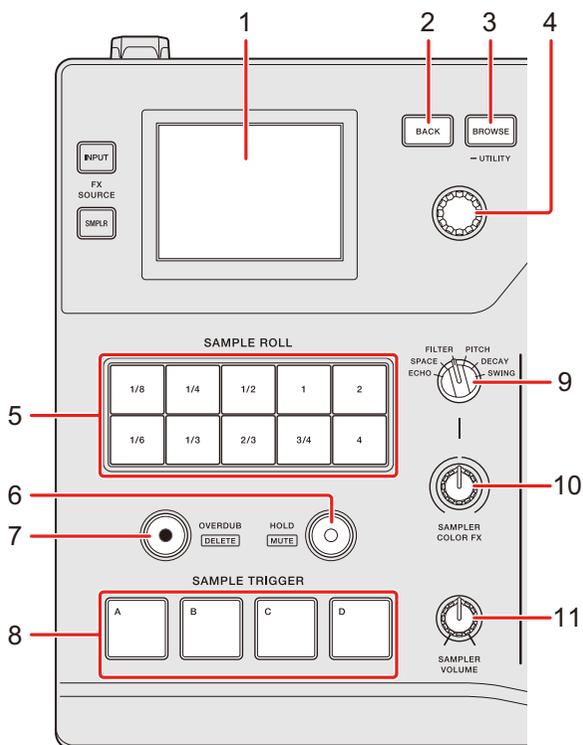
ノブの操作で、RELEASE ECHO の下記の内容を設定できます。

エフェクト／操作	説明
DRY	3-BAND FX セクションに通した音声を無音にし、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。 さらに本機の効果がかかっていない音声も出力します。
• ECHO TIME :	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率) : 1/16 ~ 1 拍
MUTE	3-BAND FX セクションに通した音声を無音にし、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
• ECHO TIME :	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム (倍率) : 1/16 ~ 1 拍

SAMPLER

本機の内蔵音源、またはUSBデバイスなどの記録メディアから読み出したサンプル音源を使って、本機への入力音声とは別に音を追加できます。

SAMPLER セクション



1. 本体表示部

⇒ 「本体表示部」 (13 ページ)

2. BACK ボタン

3. BROWSE/UTILITY ボタン

⇒ 「サンプル音源を変更する」 (43 ページ)

4. マルチエンコーダー

5. SAMPLE ROLL ボタン

本体表示部でハイライトされたスロットの音源をROLLします。押し続けているときにボタンが消灯します。

⇒ [「SAMPLE ROLL ボタンで再生する」](#) (37 ページ)

6. HOLD/MUTE ボタン

HOLD機能のオン/オフを切替えます。オンのときにボタンが点灯します。

OVERDUB機能がオンのときは、任意の音をミュートするために使います。

⇒ [「HOLD機能を使う」](#) (38 ページ)

⇒ [「記録した音をミュートする」](#) (40 ページ)

7. OVERDUB/DELETE ボタン

OVERDUB機能のオン/オフを切替えます。オンのときにボタンが点灯します。

OVERDUB機能がオンのときは、任意の音を削除するために使います。

⇒ [「OVERDUB機能を使う」](#) (39 ページ)

⇒ [「記録した音を削除する」](#) (40 ページ)

8. SAMPLE TRIGGERパッド

各スロットにアサインされている音源を再生します。

本体表示部に、アサインされている音源が表示されます。

⇒ [「SAMPLE TRIGGERパッドで再生する」](#) (36 ページ)

9. SAMPLER COLOR FX切替えスイッチ

SAMPLER COLOR FXを選択します。

10. SAMPLER COLOR FXノブ

⇒ [「SAMPLER COLOR FXの種類と設定方法」](#) (42 ページ)

11. SAMPLER VOLUME ノブ

SAMPLERセクションの出力音量を調節します。

サンプル音源を再生する

[SAMPLE TRIGGER]パッドや[SAMPLE ROLL]ボタンを操作して、サンプル音源を再生します。

SAMPLE TRIGGERパッドで再生する

1 本体表示部に表示されているBPMが正しいかを確認する

- BPMが正しくない場合は設定しなおしてください。

⇒ [「BPMを設定する」](#) (23 ページ)

2 [SAMPLER VOLUME]ノブを回して、出力音声の音量を調節する

3 本体表示部に表示されている、各スロットに設定されているサンプル音源を確認する

4 再生したい音源が設定されているスロットの[SAMPLE TRIGGER]パッドを押す

- 操作した[SAMPLE TRIGGER]パッドのスロットが、本体表示部でハイライトして表示されます。
- 再生方法が[1 Shot]のスロットは、設定されたサンプル音源を1ショット再生します。
- 再生方法が[Loop]のスロットは、設定されたサンプル音源をBPMに合わせてループ再生します。もう一度、[SAMPLE TRIGGER]パッドを押すと、再生が停止します。

SAMPLE ROLL ボタンで再生する

1 本体表示部に表示されている BPM が正しいかを確認する

- BPM が正しくない場合は設定しなおしてください。

⇒ [「BPM を設定する」](#) (23 ページ)

2 [SAMPLER VOLUME] ノブを回して、出力音声の音量を調節する

3 本体表示部に表示されている、各スロットに設定されているサンプル音源を確認する

4 再生したい音源が設定されているスロットの [SAMPLE TRIGGER] パッドを押す

- 操作した [SAMPLE TRIGGER] パッドのスロットが、本体表示部でハイライトして表示されます。
- 音源を再生せずにスロットを選択したいときは、[HOLD/MUTE] ボタンを押しながら [SAMPLE TRIGGER] パッドを押してください。

5 ROLL したい拍数の [SAMPLE ROLL] ボタンを押す

- [SAMPLE ROLL] ボタンから手を離すと、ROLL の効果がオフになります。
- 複数の [SAMPLE ROLL] ボタンを押すと、押しているボタンの拍数に合わせて再生時の音量が変化します (GROOVE ROLL 機能)。
- スロットに設定されたサンプル音源の再生方法によって、ROLL の効果が次のようにかかります。
 - [1 Shot] : サンプル音源をリトリガー
 - [Loop] : サンプル音源を SLIP ROLL

HOLD機能を使う

[SAMPLE ROLL]ボタンから指を離す直前の効果を保ち続けます。

1 [HOLD/MUTE]ボタンを押す

2 [SAMPLE ROLL]ボタンを押してから離す

- もう一度、[HOLD/MUTE]ボタンを押すと、HOLD機能がオフになります。
- [SAMPLE ROLL]ボタンを押している間に、[HOLD/MUTE]ボタンをオンにしても効果を保ち続けます。
- OVERDUB機能がオンのときは、HOLD機能は使えません。

OVERDUB 機能を使う

[SAMPLE TRIGGER]パッドと[SAMPLE ROLL]ボタンの操作を4拍分記録してループ再生します。

記録した音をミュート・削除しながら、お好みのループ再生で演奏できます。

操作を記録して再生する

1 本体表示部に表示されているBPMが正しいかを確認する

- BPMが正しくない場合は設定しなおしてください。

⇒ [「BPMを設定する」](#) (23 ページ)

2 [SAMPLER VOLUME]ノブを回して、出力音声の音量を調節する

3 [OVERDUB/DELETE]ボタンを押す

4 [SAMPLE TRIGGER]パッドまたは[SAMPLE ROLL]ボタンを押す

- 操作を記録し始め、4拍分のループ再生を始めます。
- スロットに設定されたサンプル音源の再生方法が[Loop]のときは、[SAMPLE TRIGGER]パッドの操作は記録されません。
- ループ再生中に[SAMPLE TRIGGER]パッドまたは[SAMPLE ROLL]ボタンを押すと、操作に合わせて各音源の音を追加することができます。
- [SAMPLE ROLL]ボタンの操作は、各スロットごとに記録されます。選択中のスロットは、本体表示部でハイライトして表示されます。

記録した音をミュートする

1 [HOLD/MUTE]ボタンを押しながら、ミュートするスロットの[SAMPLE TRIGGER]パッドまたは[SAMPLE ROLL]ボタンを押す

- もう一度、[HOLD/MUTE]ボタンを押しながら、ミュートしたスロットの[SAMPLE TRIGGER]パッドまたは[SAMPLE ROLL]ボタンを押すと、ミュートが解除されます。
- [SAMPLE ROLL]ボタンの音をミュートすると、そのスロットで記録したROLLの効果のみがミュートされます。
- 本体表示部でハイライトして表示されていないスロットのROLLの効果をミュートするときは、そのスロットの[SAMPLE TRIGGER]パッドを押してから操作してください。

記録した音を削除する

1 [OVERDUB/DELETE]ボタンを押しながら、削除するスロットの[SAMPLE TRIGGER]パッドまたは[SAMPLE ROLL]ボタンを押す

- 削除した音は元に戻せません。
- [SAMPLE ROLL]ボタンの音を削除すると、そのスロットで記録したROLLの効果のみが削除されます。
- 本体表示部でハイライトして表示されていないスロットのROLLの効果を削除するときは、そのスロットの[SAMPLE TRIGGER]パッドを押してから操作してください。

SAMPLER COLOR FX を使う

⇒ 「SAMPLER COLOR FXの種類と設定方法」 (42 ページ)

⇒ 「ECHOのディレイタイムを調整する」 (24 ページ)

- 1 BEAT [SYNC]、[AUTO]または[TAP]ボタンを押して、BPM測定モードを設定する
 - 2 [SAMPLER VOLUME]ノブを回して、出力音声の音量を調節する
 - 3 SAMPLER COLOR FX切替えスイッチで、使用するエフェクトを選択する
 - 4 [SAMPLER COLOR FX]ノブを回して、エフェクトを調整する
本体表示部のSAMPLER COLOR FX表示の外枠が点滅します。
 - 5 いずれかのスロットの音源を再生する
- [SAMPLER COLOR FX]ノブを中央の位置に設定すると、エフェクトがオフになります。
 - SAMPLER COLOR FXの設定を、本体表示部のSAMPLER COLOR FX表示の外枠で以下のように示します。
 - 消灯：オフ
 - 点滅：オン

SAMPLER COLOR FXの種類と設定方法

ノブの操作で、SAMPLER COLOR FXの下記の内容を設定できます。

エフェクト／操作	説明
ECHO	ディレイ音を加えます。
<ul style="list-style-type: none"> • SAMPLER COLOR FX : 	左回し：フィードバックと音質（低域 / 中域） 右回し：フィードバックと音質（中域 / 高域）
<ul style="list-style-type: none"> • ECHO TIME : 	BPM の 1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16 ～ 1 拍
SPACE	残響音を加えます。
<ul style="list-style-type: none"> • SAMPLER COLOR FX : 	左回し：残響時間と音質（低域 / 中域） 右回し：残響時間と音質（中域 / 高域）
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
<ul style="list-style-type: none"> • SAMPLER COLOR FX : 	左回し：カットオフ周波数 (LPF) 右回し：カットオフ周波数 (HPF)
PITCH	音声の音程を調整します。
<ul style="list-style-type: none"> • SAMPLER COLOR FX : 	左回し：音程（原音 ～ -1 オクターブ） 右回し：音程（原音 ～ +1 オクターブ）
DECAY	音声の長さを調整します。
<ul style="list-style-type: none"> • SAMPLER COLOR FX : 	左回し：短くする 右回し：長くする
SWING*¹	裏拍と表拍の間の再生タイミングを調整します。
<ul style="list-style-type: none"> • SAMPLER COLOR FX : 	左回し：前にずらす 右回し：後ろにずらす

*¹[SAMPLE ROLL]ボタンやOVERDUB機能を使用しているときに有効なエフェクトです。

本体表示部に表示されている本機のPHASE METERを基準に効果がかかります。

PHASE METERを調整してからお使いください。

⇒ [「PHASEを調整する」](#) (23 ページ)

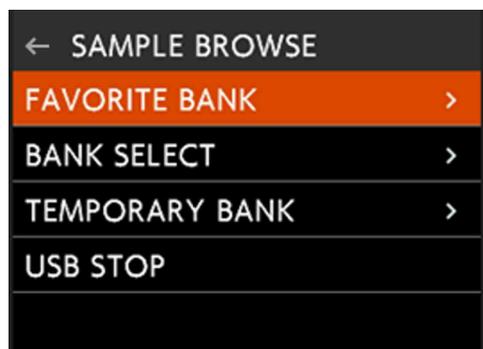
サンプル音源を変更する

SAMPLER セクションで再生する音源を変更します。

本機の内蔵音源や、あらかじめ RMX-IGNITE Sample Manager からエクスポートしたユーザー音源を演奏用バンクに設定したり、本機およびマルチプレーヤーに挿した USB デバイスなどの記録メディアに保存されている一部の音源を読み出して、一時的に設定します。RMX-IGNITE Sample Manager で FAVORITE 設定してエクスポートしたユーザーバンクを、すぐに読みだして設定することもできます。

1 [BROWSE/UTILITY] ボタンを押す

[SAMPLE BROWSE] 画面が表示されます。



2 マルチエンコーダーを回して設定方法を選択し、マルチエンコーダーを押す

以下の方法で各種設定を行います。

- **[FAVORITE BANK]** : RMX-IGNITE Sample Manager で FAVORITE 設定して、記録メディアにエクスポートしたバンクを使います。
 - **[BANK SELECT]** : 本機の内蔵バンクまたは、RMX-IGNITE Sample Manager から記録メディアにエクスポートしたバンクを使います。
 - **[TEMPORARY BANK]** : 本機の内蔵音源や、記録メディアに保存されている一部の音源を組み合わせで一時的に使います。
 - **[USB STOP]** : **[USB for SAMPLER]** 端子に接続した USB デバイスを、安全に取り外します。
- もう一度、**[BROWSE/UTILITY]** ボタンを押すと、**[SAMPLE BROWSE]** 画面が閉じます。

FAVORITEバンクを使う

- 1 **[SAMPLE BROWSE]画面でマルチエンコーダーを回して[FAVORITE BANK]を選択し、マルチエンコーダーを押す**

本機およびマルチプレーヤーに挿入されている記録メディアに保存された、FAVORITEバンクが表示されます。

- 2 **マルチエンコーダーを回して本機に設定したいバンクを選択し、マルチエンコーダーを押す**

選択されたバンクが本機に設定され、[SAMPLE BROWSE]画面が閉じます。

- 設定をキャンセルするには、[BACK]ボタンを押します。

本機の内蔵バンクまたはユーザーバンクを使う

- 1 **[SAMPLE BROWSE]画面でマルチエンコーダーを回して[BANK SELECT]を選択し、マルチエンコーダーを押す**

- 2 **マルチエンコーダーを回して本機に設定したいバンク種別 ([FACTORY] または [USER]) を選択し、マルチエンコーダーを押す**

- [FACTORY]を使用する場合は、手順4にスキップしてください。

- 3 **マルチエンコーダーを回して読み出したい記録メディアを選択し、マルチエンコーダーを押す**

記録メディアは、挿入した機器の情報とデバイス種別 ([USB]/[SD]) で表示されます。

- 4 **マルチエンコーダーを回して本機に設定したいバンクを選択し、マルチエンコーダーを押す**

選択したバンクに設定されている音源の情報が表示されます。

5 マルチエンコーダーを回して[LOAD]を選択し、マルチエンコーダーを押す

選択されたバンクが本機に設定され、[SAMPLE BROWSE]画面が閉じます。

- 設定を確定する前に、サンプル音源をモニターできます。

⇒ 「サンプル音源をモニターする」(47 ページ)

- 設定をキャンセルするには、[BACK]ボタンを押します。

一時的に音源を組み合わせたバンクを使う

1 [SAMPLE BROWSE]画面でマルチエンコーダーを回して[TEMPORARY BANK]を選択し、マルチエンコーダーを押す

2 マルチエンコーダーを回してバンクの編集方法を選択し、マルチエンコーダーを押す

以下の編集方法を選択できます。

— [CREATE NEW]：空のバンクに新たに音源を設定して、一時的なバンクを作成します。

— [DUPLICATE]：本機の内蔵バンクまたは、RMX-IGNITE Sample Manager から記録メディアにエクスポートしたバンクから、一部の音源を入れ替えて一時的なバンクを作成します。

— [MODIFY CURRENT]：本機に設定しているバンクから一部の音源を入れ替えて、一時的なバンクを作成します。

- [CREATE NEW]または[MODIFY CURRENT]を選択した場合は、手順4にスキップしてください。

3 「本機の内蔵バンクまたはユーザーバンクを使う」の手順2～4と同じ操作手順で、複製するバンクを選択する

4 [TEMPORARY BANK]画面でマルチエンコーダーを回して[BROWSE]を選択し、マルチエンコーダーを押す

本機の内蔵音源および、記録メディアに保存されている音源のブラウズを開始します。

5 「本機の内蔵バンクまたはユーザーバンクを使う」と同様の操作でブラウズし、追加するサンプル音源を選択する

[SLOT SELECT]画面が表示されます。

- RMX-IGNITE Sample Manager でエクスポートしていないファイルもブラウズできません。
- 本機が対応していないフォーマットのファイルや、楽曲の長さが16秒を超えるファイルは選択できません。

6 [SLOT SELECT]画面で、マルチエンコーダーを回して、ブラウズした音源を設定するスロットを選択する

音源のブラウズが終了し、[TEMPORARY BANK]画面に戻ります。

- 設定を確定する前にサンプル音源をモニターできます。
⇒ 「サンプル音源をモニターする」(47 ページ)
- 各スロットに設定した音源の合計時間が16秒を超える場合は、ファイルが短くトリミングされることがあります。なるべくトリミングされないようにするには、[TEMPORARY BANK]画面でマルチエンコーダーを回して各スロットを選択し、マルチエンコーダーを押してスロットを空にしてからブラウズを開始してください。

7 手順4～6を繰り返して、各スロットの音源を設定する

8 [TEMPORARY BANK]画面でマルチエンコーダーを回して[LOAD]を選択し、マルチエンコーダーを押す

選択されたバンクが本機に設定され、[SAMPLE BROWSE]画面が閉じます。

- 設定を確定する前にサンプル音源をモニターできます。
⇒ 「サンプル音源をモニターする」(47 ページ)
- ブラウズで前の階層に戻るには、[BACK]ボタンを押します。
- 設定をキャンセルするには、[BROWSE/UTILITY]ボタンを押します。

本機に接続したUSBデバイスを取り外す

- 以下の操作をせずにUSBデバイスを取り外したり、本機の電源をオフにしないでください。RMX-IGNITE Sample Managerからエクスポートしたデータが消去されたり、USBデバイスを読み込めなくなることがあります。

1 [SAMPLE BROWSE]画面でマルチエンコーダーを回して[USB STOP]を選択し、マルチエンコーダーを長押しする

マルチエンコーダーを押している間、本体表示部にポップアップが表示されます。

2 ポップアップ表示が消えた後、USBデバイスを引き抜く

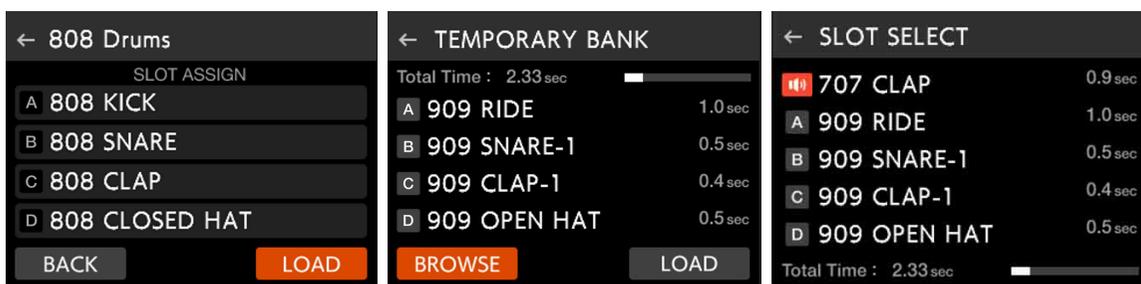
サンプル音源をモニターする

各スロットの音源の設定を確定する前に、サンプル音源を再生できます。また、設定が確定しているかに関わらず、DJミキサーでサンプル音源をモニターすることもできます。

サンプル音源を変更するときに、これから設定する音源の確認や、すでに設定されているバンクで再生できる音源をモニターすることができます。

設定を確定する前にサンプル音源を再生する

[SAMPLE BROWSE]画面で各種設定をする際に、各スロットの状態を確認できる以下のような画面を表示している間は、[SAMPLE TRIGGER]パッドが点滅します。このとき[SAMPLE TRIGGER]パッドを押すと、本体表示部に表示されているサンプル音源が1ショット再生されます。



DJミキサーでサンプル音源をモニターする (LINK CUE for SAMPLER)

次の操作をすることで、本機の出力音声にサンプル音源を出力することなくDJミキサーでサンプル音源をモニターできます。

- 1 本機に対応したDJミキサーと本機をPRO DJ LINK接続する
- 2 DJミキサーにヘッドホンを接続する
- 3 DJミキサーの[LINK CUE]を有効にする
- 4 [HOLD/MUTE]ボタンを押しながら、[SAMPLE TRIGGER]パッドを押す
 - [SAMPLE TRIGGER]パッドに対応するスロットのサンプル音源が、1ショット再生されます。
 - 再生中に他の[SAMPLE TRIGGER]パッドを押すと、後に押したパッドに対応するサンプル音源のみが再生されます。
 - 本体表示部にと表示されているサンプル音源を再生するには、[SAMPLE TRIGGER]パッドではなく、を選択中にマルチエンコーダーを押してください。

USB/MIDI

MIDI対応のソフトウェアをインストールしたPC/Macを、USBケーブルを使って接続すると、本機からMIDI対応ソフトウェアを操作できます。

- 本機のMIDIメッセージについては、下記のサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- MIDIタイミングクロックは常時送信されます。

MIDI対応ソフトウェアを操作する

- お使いのPC/Macに、あらかじめMIDI対応ソフトウェアをインストールし、MIDIの設定を行ってください。

1 [USB for MULTI I/O]端子とPC/Macを接続する

⇒ 「本体リア部」(9 ページ)

2 MIDI対応ソフトウェアを起動する

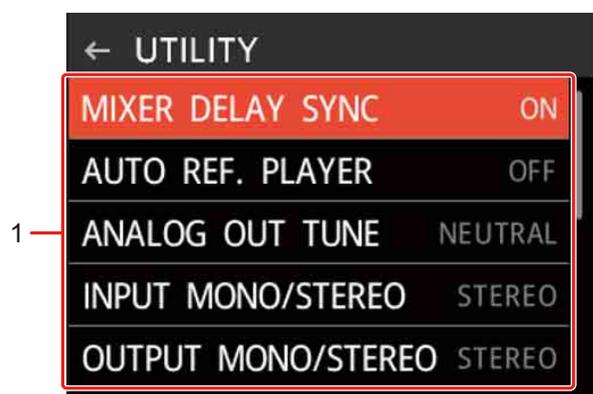
設定

UTILITY設定で本機の設定を変更します。

UTILITY設定を変更する

1 [BROWSE/UTILITY]ボタンを長押しする

[UTILITY]画面が表示されます。



1：設定項目と現在の設定値表示

2 マルチエンコーダーを回して設定項目を選択し、マルチエンコーダーを押す

⇒ [「UTILITY設定項目」\(51 ページ\)](#)

3 設定を変更する

- 設定をキャンセルするには、[BACK]ボタンを押します。

4 [BROWSE/UTILITY]ボタンを押す

[UTILITY]画面が閉じます。

UTILITY 設定項目

設定項目	説明
MIXER DELAY SYNC	<p>SEND/RETURN 経路で発生する音声のレイテンシーを [USB for MULTI I/O] 端子に接続した本機対応の DJ ミキサー上で補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：OFF、ON*¹ 本機の電源をオンにしたときは、自動的に[ON]に設定されます。
AUTO REF. PLAYER	<p>BPM の測定方法で [AUTO] を選択しているときに、本機が優先して同期する PRO DJ LINK 対応のマルチプレーヤーのプレーヤー番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：OFF*¹、1 ~ 6 本機が[INPUT]/[OUTPUT]端子で音声を入出力しており、[CONNECTION]スイッチが[CDJ]に設定されているときに、設定が反映されます。 マルチプレーヤーとDJミキサーの間に本機を設置するときに設定してください。 ⇒ 「接続」 (15 ページ)
ANALOG OUT TUNE	<p>本機の出音の音質のキャラクターを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：WARM、NEUTRAL*¹、COOL 本機が[INPUT]/[OUTPUT]端子で音声を入出力しているときに、設定が反映されます。
INPUT MONO/STEREO	<p>[INPUT] 端子から入力する音声の入力方法（モノラル / ステレオ）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：MONO、STEREO*¹ 本機が[INPUT]/[OUTPUT]端子で音声を入出力しているときに、設定が反映されます。
OUTPUT MONO/STEREO	<p>[OUTPUT] 端子から出力する音声の出力方法（モノラル / ステレオ）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：MONO、STEREO*¹ 本機が[INPUT]/[OUTPUT]端子で音声を入出力しているときに、設定が反映されます。
BRIGHTNESS DISPLAY	<p>本体表示部の輝度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1 ~ 5*¹、WHITE

設定項目	説明
BRIGHTNESS INDICATOR	LED の輝度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1 ～ 3*¹
MIDI CH	MIDI チャンネルを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1*¹ ～ 16
POWER MANAGEMENT	パワーマネジメント機能を設定します。 ⇨ 「パワーマネジメント機能」(52 ページ) <ul style="list-style-type: none"> 設定値：OFF、ON*¹
VERSION No.	本機のファームウェアバージョンを表示します。
IP ADDRESS	本機に設定された IP アドレスを表示します。

*¹ お買い上げ時の設定

パワーマネジメント機能

[POWER MANAGEMENT] を **[ON]** に設定しているときに、以下の状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

- 音声信号が入出力されていない。
- PRO DJ LINK 接続していない。

オフモードになると、**[AUTO (WAKE UP)]** ボタンが点灯します。

[AUTO (WAKE UP)] ボタンを押すと、オフモードを解除できます。

- お買い上げ時には、パワーマネジメント機能は **[ON]** に設定されています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは、**[POWER MANAGEMENT]** を **[OFF]** に設定してください。
- パワーマネジメント機能を **[OFF]** に設定した場合、消費電力が増加する場合があります。

初期設定に戻す

- 1 [AUTO (WAKE UP)] ボタンを押しながら、[] スイッチを押す
[FACTORY RESET]画面が表示されます。



- 2 マルチエンコーダーを回して[YES]を選択し、マルチエンコーダーを押す
- 3 [] スイッチを押して、電源をオフにする
お買い上げ時の設定に戻ります。

スペック

仕様

AC アダプター

電源	AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz
定格電流	1.2 A
定格出力	DC 5 V、3.0 A DC 9 V、3.0 A DC 12 V、3.0 A DC 15 V、3.0 A DC 20 V、2.25 A

本体一般

消費電流	DC 15 V、3.0 A
消費電力 (オフモード)	0.3 W
本体質量	2.3 kg
最大外形寸法	(W × D × H) 340.0 × 213.3 × 72.8 mm
許容動作温度	+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート	96 kHz
A/D、D/A コンバーター	32bit
周波数特性	20 Hz ~ 40 kHz
S/N 比 (定格出力時、A-WEIGHTED)	
CONNECTION スイッチ (MST)	115 dB
CONNECTION スイッチ (SEND/RETURN)	114 dB
CONNECTION スイッチ (CDJ)	108 dB

全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHz BW)	0.0018 %
基準入力レベル / 基準出力レベル	
CONNECTION スイッチ (MST)	+4 dBu/+4 dBu
CONNECTION スイッチ (SEND/RETURN)	-7.8 dBu/-7.8 dBu
CONNECTION スイッチ (CDJ)	-6 dBu/-12 dBu
入力インピーダンス	47 k Ω
出力インピーダンス	680 Ω 以下
定格出力レベル / 負荷インピーダンス	
CONNECTION スイッチ (MST)	21 dBu/10 k Ω
CONNECTION スイッチ (SEND/RETURN)	12 dBu/10 k Ω
CONNECTION スイッチ (CDJ)	3 dBu/10 k Ω
入力 / 出力端子	
INPUT 端子 1/4" TS ジャック	1 系統
OUTPUT 端子 1/4" TS ジャック	1 系統
USB Type-A 端子 (for SAMPLER)	1 系統
電源供給	5 V/1 A 以下
USB Type-C 端子 (for MULTI I/O, AC アダプター)	2 系統
LINK 端子 LAN (100BASE-TX)	1 系統

本体の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

対応ファイルフォーマット

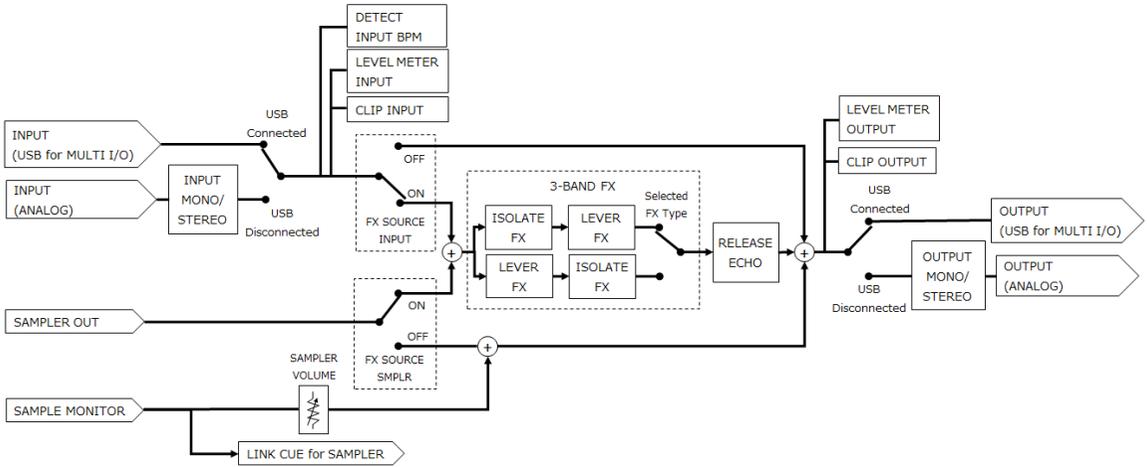
本機は以下のフォーマットの楽曲ファイルに対応しています。

種類	拡張子	フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング 周波数
WAV	.wav	WAV	16bit、24bit	—	44.1 kHz、 48 kHz、
AIFF	.aif、.aiff	AIFF			88.2 kHz、 96 kHz

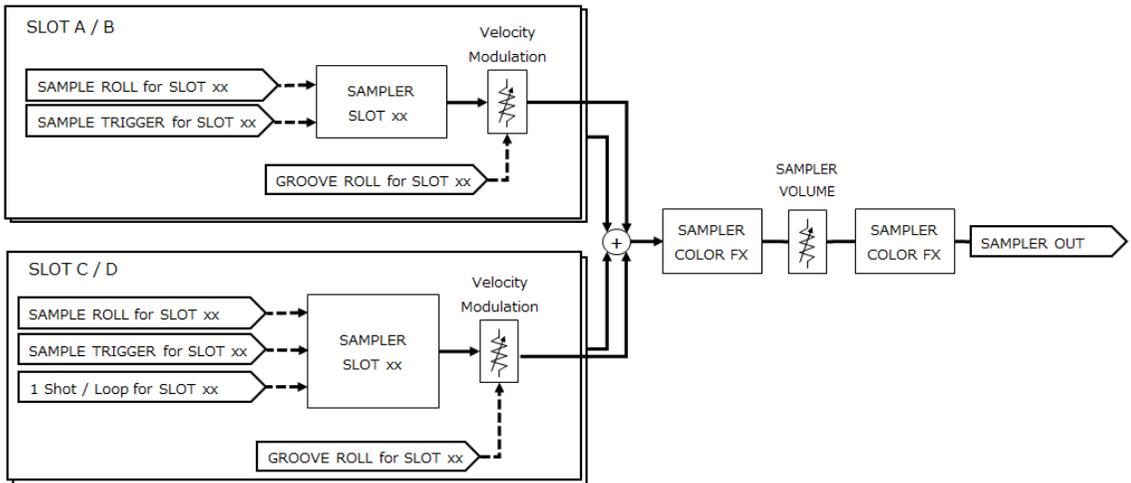
- 対応フォーマットのファイルでも再生できないことがあります。

ブロックダイアグラム

❖ 全体ダイアグラム



❖ SAMPLER セクション ダイアグラム



その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびAlphaThetaサポートページへアクセスして、**[RMX-IGNITE]**の**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

電源

❖ 本機の電源が入らない

- ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
- 本体リア部の[⏻]スイッチを押して、電源をオンにしてください。

❖ 何も表示されない

- パワーマネジメント機能が働いていないか確認してください。働いている場合は**[AUTO (WAKE UP)]**ボタンを押すと、オフモードが解除されます。

音声出力

❖ 音が出ない、音が小さい

- 接続しているDJミキサーなどを正しく操作してください。
- 本機のエフェクトの効果で音量を下げているか確認してください。
- PC/Macを接続していないか確認してください。本機はPC/Macと接続しても音声を入出力しません。

[USB for MULTI I/O]端子で音声を入出力するとき：

- 本機と接続しているDJミキサーが本機に対応しているか、モデルやファームウェアバージョンを確認してください。

[INPUT]/[OUTPUT]端子で音声を入出力するとき：

- 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 端子やプラグの汚れを確認し、汚れを拭き取ってから接続してください。
- [USB for MULTI I/O]端子でDJミキサーと接続していないか確認してください。接続されているときは、[INPUT]/[OUTPUT]端子では音声を入出力できません。

❖ 音が歪む

- 本体リア部の[CONNECTION]スイッチが正しく設定されているか確認してください。
- 本体表示部で[CLIP INPUT]または[CLIP IN/OUT]と表示されていないか確認してください。されている場合は、入力ソースの音量を下げてください。
- 本体表示部で[CLIP OUTPUT]と表示されていないか確認してください。されている場合は、本機のエフェクトの効果を調整してください。

❖ 出力音声に本機の設定が反映されない

- [USB for MULTI I/O]端子でDJミキサーと接続していないか確認してください。接続されているときは、[ANALOG OUT TUNE]、[INPUT MONO/STEREO]、および[OUTPUT MONO/STEREO]の設定が出力音声に反映されません。
- リスニング環境によっては、[ANALOG OUT TUNE]の効果を聴き取りにくい場合があります。

エフェクト

❖ SAMPLER COLOR FXが効かない

- [SAMPLER COLOR FX]ノブが適切な位置に設定されているか確認してください。
- SAMPLERセクションで、1つ以上のスロットが発音されているか確認してください。
- [SAMPLER VOLUME]ノブが適切な位置に設定されているか確認してください。

❖ ISOLATE FXが効かない

- [FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンが点灯しているか確認してください。
- ISOLATE FX ([LOW], [MID], [HI]) ノブが適切な位置に設定されているか確認してください。

❖ LEVER FXが効かない

- [FX SOURCE INPUT, SMPLR]ボタンが点灯しているか確認してください。
- LEVER FX ([LOW], [MID], [HI]) レバーが適切な位置に設定されているか確認してください。

- LEVER FX [SUB PARAMETER] ノブが適切な位置に設定されているか確認してください。

❖ RELEASE ECHO が効かない

- [FX SOURCE INPUT, SMPLR] ボタンが点灯しているか確認してください。
- [RELEASE] ボタンを適切に押し込んでいるか確認してください。

SAMPLER

❖ サンプルの再生が止まらない

- スロットにアサインされているサンプル音源がループ設定された音源か確認してください。ループ設定されている場合は、もう一度、[SAMPLE TRIGGER] パッドを押すと再生が止まります。
- [SAMPLE ROLL] ボタンが HOLD 機能でオンされていないか確認してください。オンされている場合は、[HOLD/MUTE] ボタンを押すと HOLD 機能がオフされます。

❖ スロットにアサインしたサンプル音源が再生できなくなった

- スロットに設定したサンプル音源を保存している記録メディアが、取り外されていないか確認してください。本機やマルチプレーヤーから記録メディアが取り外されると、それまで設定していたサンプル音源が解除されることがあります。

❖ USB デバイスを認識しない

- USB デバイスを正しく接続してください。
- USB ハブは使用できません。USB デバイスを本機に直接接続してください。
- 本機対応の USB デバイスかどうか確認してください。
- 本機対応のファイルシステムかどうかを確認してください。対応ファイルシステムは FAT16、FAT32、HFS+、exFAT です。
- 本機対応のファイルフォーマットかどうか確認してください。
- 電源を入れ直してください。

❖ USB デバイス（フラッシュメモリーまたはハードディスク）の読み込みに時間がかかる

- USB デバイスに大量のフォルダーやファイルが保存されているときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- USB デバイスに楽曲ファイル以外のファイルが保存されているときは、読み込みに時間がかかります。楽曲ファイル以外のファイルは保存しないようにしてください。

❖ USBデバイスから楽曲ファイルを読み出せない

- 本機に対応しているファイルフォーマットを確認してください。
- 楽曲の長さが16秒を超える場合は、本機に対応しているファイルフォーマットの楽曲ファイルであっても読み出せません。

❖ ロードしたサンプルの音量バランスがおかしい

- RMX-IGNITE Sample Manager上で正しく音量が設定されているか確認してください。
- 本機では、サンプル音源ごとの音量調整ができません。RMX-IGNITE Sample Managerでお好みの音量バランスに設定してください。

❖ マルチプレーヤーに挿した記録メディアからバンクを読み出せない

- お使いのマルチプレーヤーが正しく設定されているか確認してください。
- LANケーブルを[LINK]端子に正しく接続してください。
- スイッチングハブの電源をオンにしてください。
- スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。

❖ バンクを読み出すとエラーが発生する

- RMX-IGNITE Sample Managerから記録メディアにエクスポートしたデータが破損している場合があります。もう一度、エクスポートしてください。

MIDI

❖ MIDIコントロールできない

- 本機からソフトウェアを操作するときは、本機のMIDIメッセージをお使いのソフトウェアにアサインしてください。詳細については、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

GLOBAL・システム

❖ PRO DJ LINK がうまく働かない

- 本機と接続しているマルチプレーヤーが本機に対応しているか、モデルやファームウェアバージョンを確認してください。
- お使いのマルチプレーヤーが正しく設定されているか確認してください。
- LANケーブルを[LINK]端子に正しく接続してください。
- スイッチングハブの電源をオンにしてください。
- スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。

❖ テンポ (BPM) が測定できない、または測定値がおかしい

- 本体表示部のピークレベルメーターの[INPUT]が黄色付近まで点灯するように、入力ソースの音量を調整してください。
- 楽曲によってはテンポ (BPM) を測定できないことがあります。[TAP]ボタンを使って手動で設定してください。

❖ 測定したテンポ (BPM) の値がCDの記載値と異なる

- BPMの測定法が異なるため、異なる値を示すことがあります。

❖ AUTOで測定したテンポ (BPM) の値が、別のマルチプレーヤーにロードした楽曲の値になる

- お使いのマルチプレーヤーのプレーヤー番号が正しく設定されているか確認してください。
- 本体リア部の[CONNECTION]スイッチの設定を確認してください。
[CDJ]に設定されているときは、UTILITY設定で[AUTO REF. PLAYER]を[OFF]にするか、[CONNECTION]スイッチの設定を変更してください。

❖ 本機を使っているとマルチプレーヤーの操作にレイテンシーを感じる

- [USB for MULTI I/O]端子でDJミキサーと接続しているときは、UTILITY設定で[MIXER DELAY SYNC]を[OFF]に変更して操作感を確認してください。

その他

❖ PC/Macに接続しても本機が認識されない

- PC/Macが正しく接続されているか確認してください。
- 本機とPC/Macは、直接USBケーブルで接続することを推奨します。
- USBハブを使用する場合は、お使いになるPC/Macのメーカー推奨品を使用してください。
- 全てのUSBハブの動作を保証するものではありません。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

商標および登録商標について

- rekordbox™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
- PRO DJ LINK™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS および Finder は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での（収益が発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またはその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためには、ライセンスされておりません。このような使用には、個別にライセンスを取得する必要があります。

詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

ソフトウェアのライセンス

ここでは、本機に使われているソフトウェアの利用許諾（ライセンス）について記載しています。正確な内容を保持するため、原文（英語）を記載しています。

Copyright © 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS «AS IS» AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

著作権

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CDなどから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2025 AlphaTheta株式会社 禁無断転載

<DRJ1106-A>